

防火防災教育を実施しましょう

4月は、新社会人としてスタートする方、人事異動で新任地に就く方など職場の人員配置が変わる時期です。新たな職場では勤務する建物の構造や状況がすぐには把握できず、火災等災害時の対応が遅れてしまうおそれがあります。

新社会人、新たな職場で働く従業員に対して、建物内に設置されている消防用設備等（消火器や自動火災報知設備など）の設置場所、機能及び取り扱い方法や避難経路を確認し、防火防災教育を行うことが大切です。

防火防災教育のポイント

- ①火災予防上の基本的事項
- ②作業等の安全に関する基本的事項
- ③震災対策に関する事項
- ④防火管理に関する従業員各自の役割及び責任の周知徹底
- ⑤消防用設備等の設置場所、機能、取り扱い方法

